

SENSHU
UNIVERSITY
ASSOCIATION OF
ATHLETICS

SENSHU UNIVERSITY

専修大学
体育会ガイド



Contents

体育部長挨拶	03
生田キャンパス	04
生田体育施設	06
生田体育寮	10
伊勢原総合グラウンド	12
伊勢原体育寮	14
アーチェリー部/アイスホッケー部	16
アメリカンフットボール部/カヌー部	17
剣道部/ゴルフ部	18
サッカー部/柔道部	19
準硬式野球部/水泳部	20
スキー部/スピードスケート部	21
相撲部/ソフトテニス部	22
卓球部/テニス部	23
馬術部/バスケットボール部	24
バドミントン部/バレーボール部	25
フィギュアスケート部/フェンシング部	26
ボクシング部/野球部	27
ラグビー部/陸上競技部	28
レスリング部/ローラースケート部	29
合気道部/居合道部/空手部/弓道部/山岳部/自動車部/射撃部	30
少林寺拳法部/体操部	
東洋伝拳法部/日本拳法部/ハンドボール部/ボウリング部/ボディビル部	31
ヨット部/ホッケー同好会/ローバースカウト同好会	
近年のオリンピック大会出場者	32
近年のアジア大会出場者	32
近年の世界選手権等出場者	33
近年のワールドユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード)大会出場者	34
体育会学生への支援・主な就職先	35



体育部長
(国際コミュニケーション学部教授)

ご挨拶

鈴木 健郎

アスリートへの手厚い支援

専修大学体育会は、大正 10(1921) 年に軟式庭球部(現ソフトテニス部)、大正 11(1922) 年に山岳部(現山岳部とスキー部)と馬術部、大正 12(1923) 年に相撲部が発足し、昭和 8(1933) 年に、剣道部、拳闘部(現ボクシング部)、硬式野球部(現野球部)、陸上競技部、弓道部、射撃部を加えて正式に創立しました。現在は 43 部・2 同好会で構成され、その内の 28 部は強化部に指定されています。令和 8(2026) 年には創立 93 周年を迎え、専修大学体育会は百年に迫る長い歴史と伝統を有しています。専修大学体育会の各々は、長年にわたって学生スポーツ界のトップレベルで活躍しています。各競技のチャンピオンやオリンピック選手やプロ選手を含む幾多の優秀なアスリートを輩出することで、日本や世界のスポーツ界に多大なる貢献を果たしてきました。

スポーツは、競技者にはもちろん、それを見る人々、応援する人々に、日常とは異なったレベルの高揚、感動、元気、連帯感などを与えてくれます。体育会各部の活躍は、本学の学生、教職員、校友、育友、そして近隣地域や一般社会の方々との絆をより一層高めてくれます。

専修大学体育会では、高い競技レベルを有するとともに、日々の厳しい鍛錬と学業を両立し、大学の代表としての自覚と誇りをもって積極的に社会貢献をする意欲を持った人材を求めています。各部には、競技での勝利とともに、大学や社会への貢献が期待されます。体育会各部の活躍は「専大スポーツ」などの学内メディアやマスコミで周知されます。また、各部では地域の青少年を対象としたスポーツ指導であるワンデーチームメイトの開催、生田校舎の通学路などの清掃を行うクリーンタウンの実施などにも熱心に取り組んでいます。

専修大学では学生アスリートの能力開発を支援するために、特定の学部学科において、スポーツ関連の専門的科目を履修できるカリキュラムを提供しています。スポーツ関連の科目を履修することで、自らの競技力向上に役立つとともに、将来、指導者となるための資格取得への道も開けるようになっていきます。所定の単位を修得することにより、日本スポーツ協会のスポーツ指導者受験資格を取得することもできます。

体育会学生のサポートとして、専修大学の体育部委員会は、体育事務部とともに、体育会学生の競技力向上、学業・生活指導、支援などを中心にきめの細かい対応を行っています。令和元(2019)年には大学スポーツ協会 (UNIVAS) に加盟し、学業とスポーツの両立を他部署との連携を図りながら学生支援に取り組んでいます。専修大学体育会のメンバーとして、真の一流アスリートを目指す方の入学を期待しています。

IKUTA 生田キャンパスエリア CAMPUS AREA

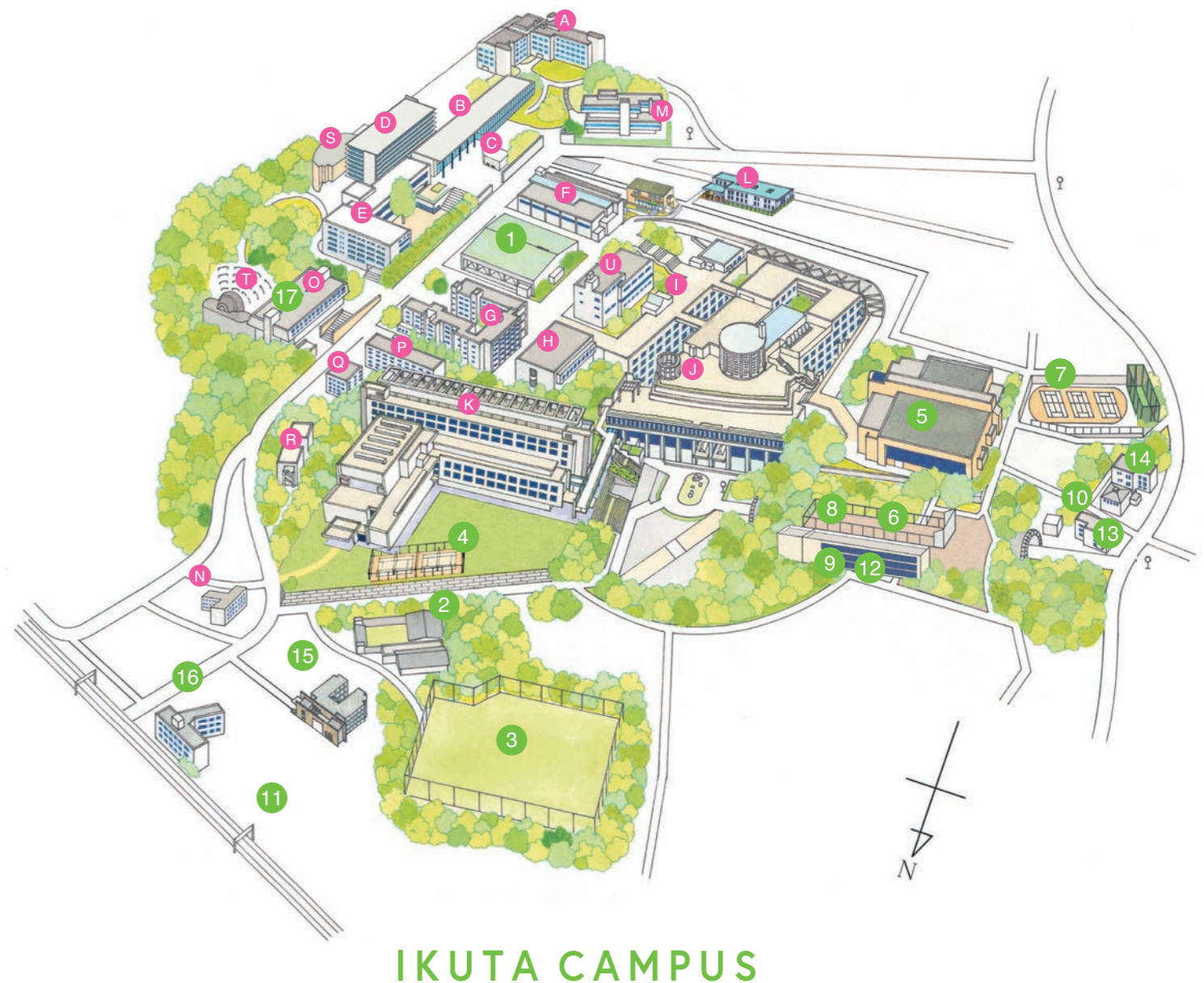
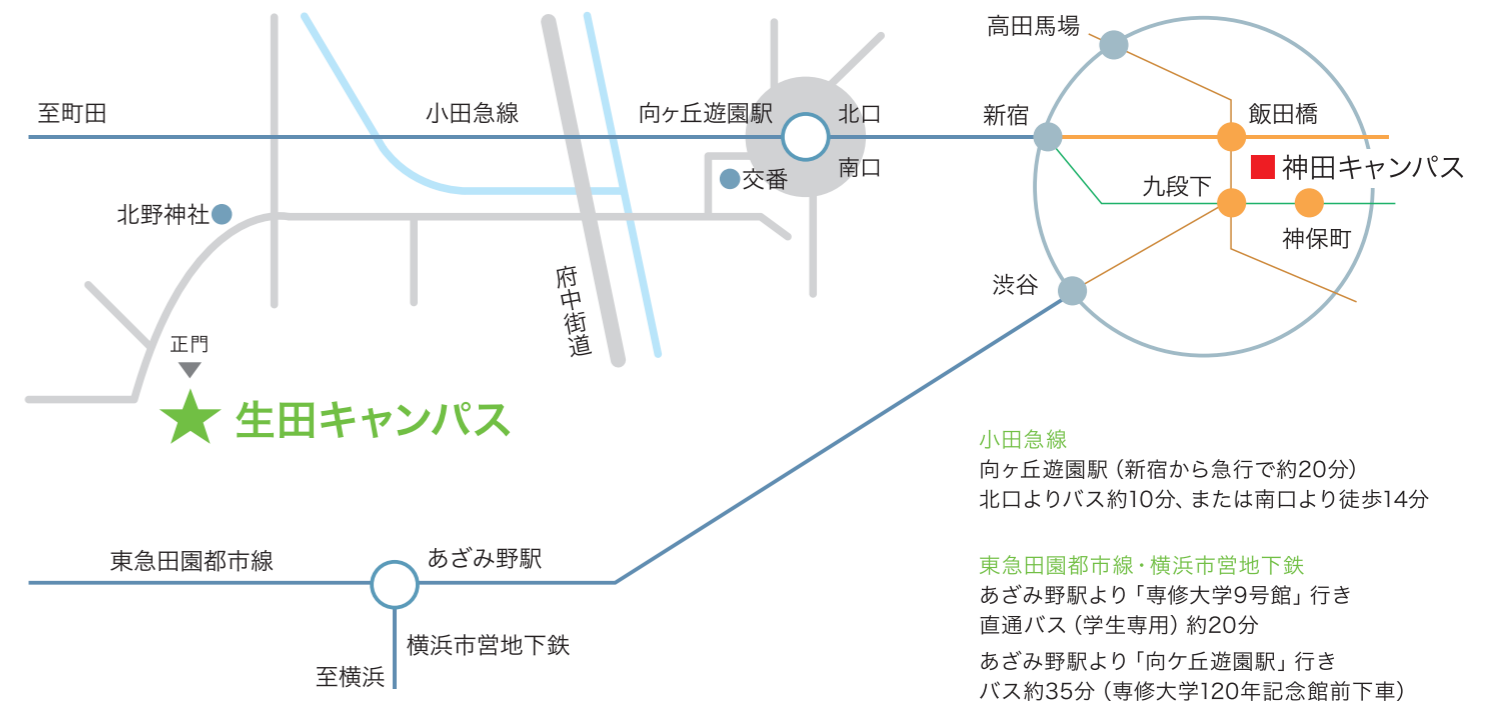
多数の強化部が教室と同一のキャンパス内で練習に集中。
屋内・屋外施設ともに選手たちが最大限に力を発揮できるよう、
体育寮を含む充実した設備でサポートしています。

生田キャンパス体育施設

- 1 第1体育館
- 2 弓道場
- 3 北グラウンド
(多目的グラウンド)
- 4 テニスコート
- 5 総合体育館
- 6 アーチェリー場
- 7 西グラウンド
- 8 準硬式野球部練習場
- 9 第2体育館
- 10 相撲道場
- 11 ローラーホッケー場
- 12 第1体育寮
- 13 第1体育寮別館Ⅰ
- 14 第1体育寮別館Ⅱ
- 15 第2体育寮
- 16 第3体育寮
- 17 体育会本部(生田会館3階)

その他の施設

- A 1号館
- B 2号館
- C 2号館分館
(インフォメーション)
- D 3号館
- E 4号館
- F 5号館
- G 6号館
- H 7号館
- I 8号館
- J 9号館(120年記念館)
- K 10号館(130年記念館)
- L 11号館
- M 図書館生田分館
- N 国際交流会館
- O 生田会館
- P 第1学生自治会館
- Q 第2学生自治会館
- R 第3学生自治会館
- S グリーントップ(食堂棟)
- T 野外音楽堂
- U 食堂館



総合体育館



2nd.Floor



1st.Floor



B1.Floor



トレーニングルーム

毎日8時～21時30分まで利用可能。トレーニング機器は各競技に対応できるよう、有酸素系、フリーウエイト、マシンと豊富にそろえ、全国の大学でもトップクラスの規模を誇り、大人数(100名程度)にも対応可。※状況によって変更する場合があります。

フリーウエイトエリア ◎パワーラック10台 ◎バー&プレート(約4t分) ◎ダンベル1～50kg その他 背筋台、腹筋台、登り綱、特殊機器など。



マシンエリア

- ◎有酸素系23台
- ◎ウエイトスタックマシン18台
- ◎プライオメトリクス系マシン1台
- ◎バランスボール
- ◎メディシンボール
- ◎体組成計
- ◎血圧計など



低酸素室

5号館に設置されている。スピードスケート部の前嶋孝前監督(専修大学名誉教授)が研究の先鞭をつけ、数々のオリンピック選手を輩出してきた。低酸素状態でトレーニングすることで血液の酸素運搬能力を高め、常圧の平地でのパフォーマンス向上が期待できる。陸上競技部員もトレーニングの一環で活用している。



第1体育館



多目的な利用が可能なアリーナ



ボクシング場

第2体育館



エントランス



体育室1



体育室2

相撲道場



第1体育寮別館IIの隣にある。銅板の屋根は両国国技館と同様のものを使用し、竣工当時はミニ国技館といわれた。



北グラウンド

アメリカンフットボール部、サッカー部が主に使用している。全面に人工芝が敷きつめられている。(多目的グラウンド)



多目的グラウンド

西グラウンド

外周は1周148mでスピードスケート部などが練習。3面あるテニスコートはテニス部(女子)が使用。



テニスコート



2面のオムニコートは、ソフトテニス部が使用

準硬式野球部練習場



アーチェリー場



ローラーホッケー場



IKUTA

生田キャンパスエリア

CAMPUS

AREA

生田

体育寮

生田キャンパス内

生田第1体育寮 | 〒214-0033 神奈川県川崎市多摩区東三田2-2-1
TEL 044-911-2129 FAX 044-900-7860

居住 クラブ	生田第1体育寮		施設概要 (本館)4階建/計60室(1室18.5畳) (別館Ⅰ)3階建/計8室(1室16畳) 施設概要(別館Ⅱ)3階建/計7室(1室16畳)	定員 (本館)240名 (別館Ⅰ)32名 (別館Ⅱ)28名	朝食 夕食 食事	
	アイスホッケー部	水泳部				別館Ⅰ
	剣道部	卓球部				ボクシング部
	ゴルフ部	バスケットボール部				アメリカンフットボール部
柔道部	フェンシング部	別館Ⅱ	相撲部			
準硬式野球部	レスリング部					



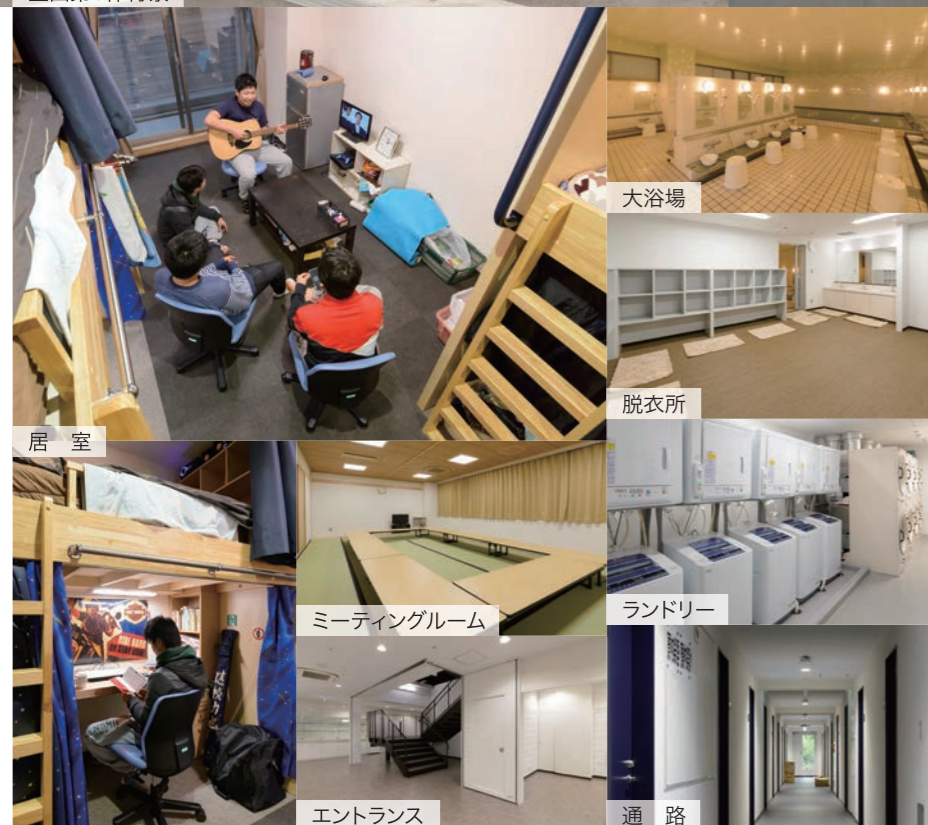
生田第1体育寮



生田第1体育寮 別館Ⅰ



生田第1体育寮 別館Ⅱ



大浴場

脱衣所

ランドリ

通路

ミーティングルーム

エントランス

居室



メニュー 約2,000kcal ポリューム満点の食事に会話も弾みます!

- ご飯 ●ミニうどん(きつね)
- 豚肉のゆず胡椒焼き
- ジャンボロケ
- かぼちゃの煮つけ
- サラダバー ●フルーツ
- 牛乳 ●ヤクルトジョア

食堂

生田第2体育寮 | 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形5-3-1
TEL 044-911-9399 (FAX兼用)

居住 クラブ	サッカー部/スキー部/スピードスケート部/陸上競技部	施設概要 3階建/計59室 (1室13畳)	定員 118名	朝食 夕食 食事	生田キャンパス周辺
-----------	----------------------------	-----------------------------	------------	----------------	-----------



酸素カプセル

疲労回復作用が期待される

中庭



居室

食堂

カフェテリア方式で食事を楽しめる



生田第3体育寮 | 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形5-1-1
TEL 044-933-2868 FAX 044-281-8520

居住 クラブ	ゴルフ部/スキー部/卓球部/テニス部 バドミントン部/フェンシング部/水泳部	施設概要 3階建/計20室(1室18畳)	定員 80名	朝食 夕食 食事	生田キャンパス周辺
-----------	---	-------------------------	-----------	----------------	-----------



居室

談話室

食堂

生田第3体育寮(別館)

〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-9生田研修館5F
TEL 044-911-1609 FAX 044-328-5797

居住 クラブ	バスケットボール部	施設概要 計7室(1室21畳)	定員 21名	朝食 夕食 食事	生田キャンパス周辺
-----------	-----------	--------------------	-----------	----------------	-----------

※第3体育寮本館で食事をします。



居室

ISEHARA

伊勢原総合グラウンドエリア

GROUND AREA

大学スポーツ界で伝統を誇る野球部、ラグビー部の本拠地であり、体育寮が設けられています。
馬術部、またテニス部(男子)が練習に汗を流しています。



ピッチング練習場

野球場



ラグビー場

120m×70m。公式戦に使用できる天然芝仕様。



野球場



平成27年3月、人工芝に改修。ナイター照明も整備。



テニスコート

オールウェザー4面をそなえて、ナイター照明を完備。

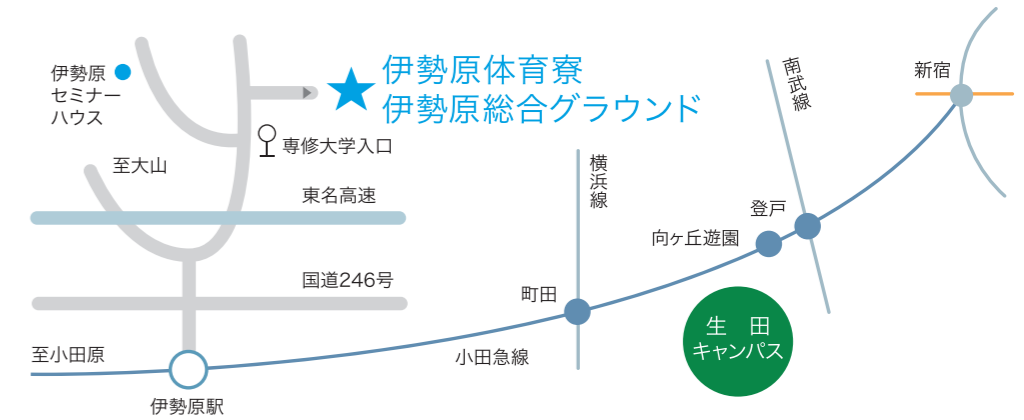


雨天練習場

人工芝となっている。

伊勢原総合グラウンド 体育施設

- 1 野球場(人工芝)
- 2 ラグビー場
- 3 馬場
- 4 テニスコート
- 5 多目的グラウンド(人工芝)
- 6 雨天練習場
- 7 トレーニング場
- 8 伊勢原体育寮
- 9 伊勢原体育寮別館
- 10 ピッチング練習場



伊勢原
セミナー
ハウス

★伊勢原体育寮
伊勢原総合グラウンド

至大山 至小田原

東名高速
国道246号

専修大学入口

横浜線
町田

登戸
向ヶ丘遊園

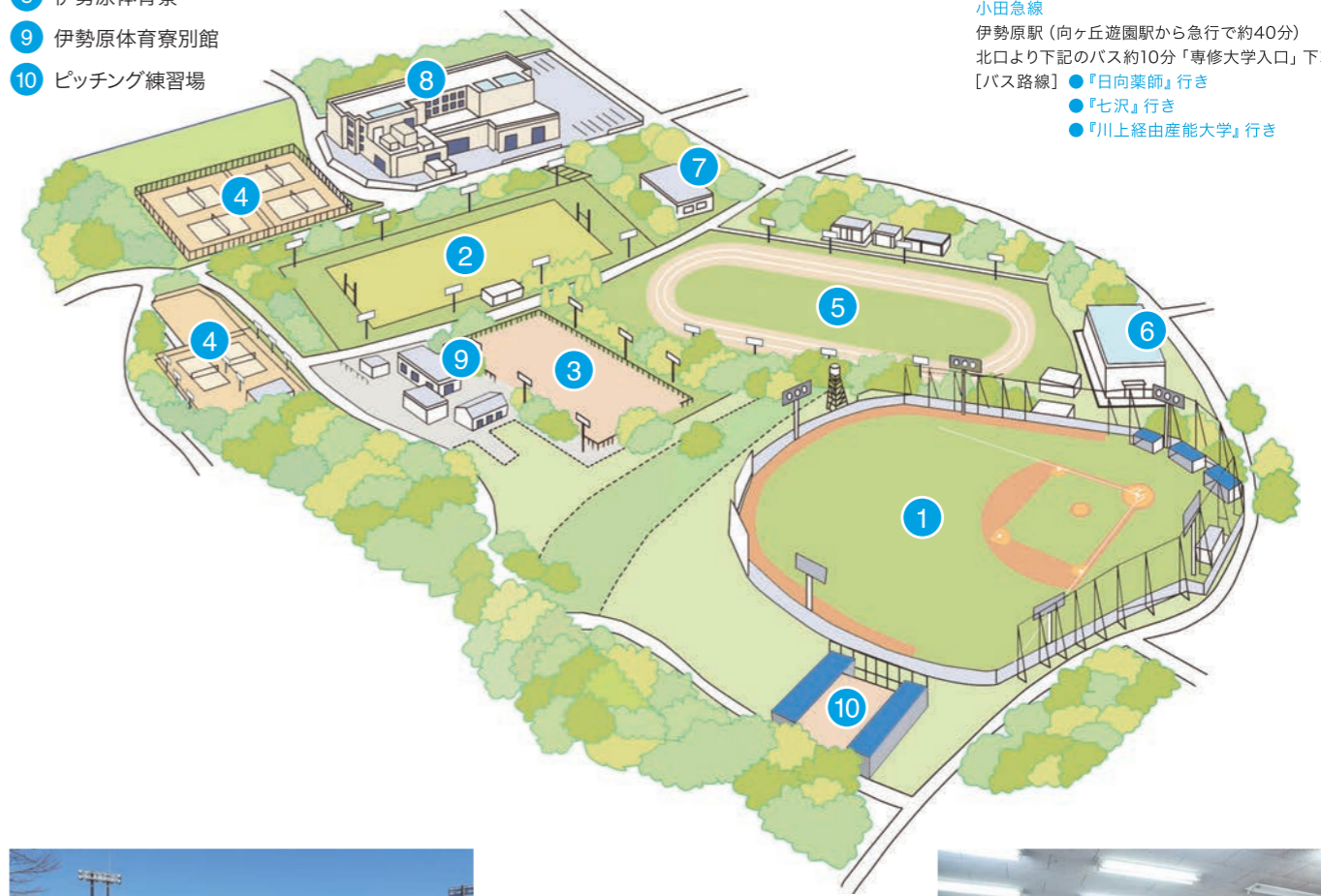
小田急線

生田
キャンパス

新宿

南武線

小田急線
伊勢原駅(向ヶ丘遊園駅から急行で約40分)
北口より下記のバス約10分「専修大学入口」下車徒歩5分
[バス路線] ●『日向薬師』行き
●『七沢』行き
●『川上経由産能大学』行き



馬場

100m×40mの馬場の隣には、5つの馬房を備えている。

ISEHARA GROUND



トレーニング場

生田トレーニングルームと同じ機種のマシンが導入され、高い運動効果を挙げている。



多目的グラウンド

グラウンドの周囲に、オールウェザーの陸上競技トラック(3レーン)が設けられている。平成27年3月人工芝に改修。

ISEHARA

伊勢原総合グラウンドエリア


GROUND AREA

伊勢原 体育寮

伊勢原総合グラウンド内

〒259-1111 神奈川県伊勢原市西富岡163

TEL 0463-95-3020 FAX 0463-93-1433

-  居住クラブ 野球部 ラグビー部
-  施設概要 4階建/計68室(1室16畳)
-  定員 136名
-  食事 朝食/昼食(休日のみ)/夕食



天井から陽光さしこむ
西欧風デザインのホール。



ホール



居室

2人で1部屋の広いスペース。



研修室

【研修室1】108名収容 【研修室2】45名収容
各種講習会やミーティングで使用



食堂

カフェテリア方式となっている。
スポーツ栄養学に基づいたメニュー
を提供。



▲愛情たっぷりのメニューが自慢!!

メニュー 約2,000kcal

- ご飯 ●味噌汁 ●豚ロースカツ
- 線キャベツ&トマト ●筑前煮 ●牛乳
- フルーツ ●ヨーグルト ●生卵 ●納豆



浴室

ラグビー部、野球部それぞれ専用の浴室がある。



トレーナールーム


生田総合体育館と同等レベルの設備が整っており、
けが予防やリハビリに成果を挙げている。



伊勢原体育寮 別館/既舎

〒259-1111 神奈川県伊勢原市西富岡129
TEL 0463-93-5483

〒259-1141 神奈川県伊勢原市上粕屋1110-23

-  居住クラブ 馬術部
-  施設概要 2階建/計6室(1室6~10畳)
-  食事 自炊 馬場に隣接して建ち、1階部分に19の馬房を備える。

既舎 伊勢原総合グラウンド内



アーチェリー部

Archery

標的は大学日本一

創部 1964 (昭和39年)

- 寮部室 生田校舎第3自治会館
- 練習場所 生田校舎アーチェリー場 (総合体育館横)
- 練習時間 月～金/15:00～18:00
土/13:00～16:00
- 2026年度役員
- 部長 佐藤暢(経営学部教授)
- 監督 遠藤良祐(専修大学)



Web



X

2025年の主な成績

- ◆全日本室内アーチェリー選手権大会 出場
- ◆全日本学生ターゲットアーチェリー選手権大会 出場
- ◆全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会 出場

アーチェリー部は昭和39(1964)年に洋弓同好会としてスタートした。部のチームワークが一気に花開いたのが、平成2(1990)年だった。関東学生リーグ戦の優勝とともに、加盟する全校が3人の合計点で競うフロンティア競技カップ=オールラウンド競技で優勝。平成4(1992)年と平成21(2009)年に全日本学生個人選手権で優勝している。さらに平成21(2009)年～平成24(2012)年、平成26(2014)年～平成28(2016)年、平成31(2019)年に男子リーグ戦ブロック優勝を果たしている。

アメリカンフットボール部 American Football

TOP8復帰を目標に突進

創部 1963 (昭和38年)

- 寮部室 生田校舎第1自治会館
- 練習場所 生田校舎北グラウンド
- 練習時間 火～金/17:00～21:00
土日祝/13:00～18:00
- 2026年度役員
- 部長代行 鈴木 健郎
(国際コミュニケーション学部教授・体育部長)
- 監督 升川岳史



Facebook



X

2025年の主な成績

- ◆関東大学秋季リーグ戦(2部Bブロック) 3位
- ◆BIG8入替戦勝利 昇格

昭和38(1963)年創部。低迷期も長かったが昭和50年代後半、監督・コーチの的確な指導と部員たちの努力が実り、一気に上昇気流をつかんだ。今では関東の名門チームのひとつに数えられている。平成3(1991)年初めて大学日本一を決める甲子園ボウル(東西大学王座決定戦)に出場したものの、王座の栄冠をつかむことができなかった。部員たちは目標をTOP8復帰に絞り、関東大学リーグで奮戦を続けている。

アイスホッケー部

Ice Hockey

氷上の王者めざし、奮闘つづく

創部 1970 (昭和45年)

- 寮部室 生田第1体育寮
- 練習場所 銀河アイスアリーナ
東大和アイスアリーナ
- 練習時間 8:00～12:00(陸上トレーニング)
不定期(氷上トレーニング)
- 2026年度役員
- 部長 岡田好史(法学部教授)
- 監督 高橋裕一



Facebook



X

2025年の主な成績

- ◆秩父宮杯関東大学選手権大会 8位

昭和45(1970)年、アイススケート部にアイスホッケー部門設立。昭和47(1972)年東京都大学リーグ5部に正式加盟。以後、毎年破竹の勢いで勝ち進み昇格していく。昭和50(1975)年に念願の1部リーグに昇格。46年の準5部リーグ加盟から入替戦を含めて通算26連勝、東京都大学リーグ発足以来、驚異の快記録と言われた。現在は1部Bグループ優勝・1部Aグループ昇格を目標に励んでいる。

カヌー部

Canoe Sprint

日本カヌー史の源流を誇りに

創部 1936 (昭和11年)

- 寮部室 生田校舎第1自治会館
- 練習場所 多摩川・相模湖漕艇場
- 練習時間 月～金/17:00～19:00
土/午前・午後の2部練習
- 2026年度役員
- 部長 岡田稔(商学部教授)
- 監督 渡邊秀幸(専修大学)



X

2025年の主な成績

- ◆関東学生カヌースプリント選手権大会
- K1-200m 大泉堅(経済1) 準決勝4位
- K1-200m 藤縄輔玖(文1) 準決勝6位
- K1-1000m 大泉 準決勝9位

昭和11(1936)年創部。この年開催の第11回ベルリンオリンピックでカヌーが正式種目になっている。わが国の漕艇競技はボートの歴史が古く、明治時代に始まったが、カヌー競技はかなり遅れて昭和12(1937)年、本学を中心にスタートした。その後、関東学生カヌー選手権10連覇、全日本学生カヌー選手権3連覇など、輝かしい戦績を残している。

剣道部

Kendo

再び関東の強豪の座を狙って

創部 1924 (大正13年)

- 寮部室 生田第1体育寮
- 練習場所 生田校舎第2体育館
- 練習時間 月～金/17:00～19:00
土/9:00～11:30
- 2026年度役員
- 部長 齋藤実(文学部教授)
- 監督 梅山義隆



Web



Facebook

大正13(1924)年の創部。昭和3(1928)年には仮施設ながら専用道場もでき活動が本格化した。戦後は廃部のやむなきに至ったが、昭和27(1952)年に再結成。昭和46(1971)年には大正初期から知られる名門校を次々と撃破し、全日本学生剣道優勝大会で初優勝するなど、新興勢力の一番手として大きく飛躍した。平成に入り一時低迷したが、平成7(1995)年には19年ぶりに関東学生剣道優勝大会で優勝して復活を印象づけた。その後も強豪の座を得るべく奮闘している。

2025年の主な成績

- ◆全日本学生剣道大会 ベスト8
- ◆関東学生剣道大会 ベスト8
- ◆関東学生剣道新人大会 ベスト8

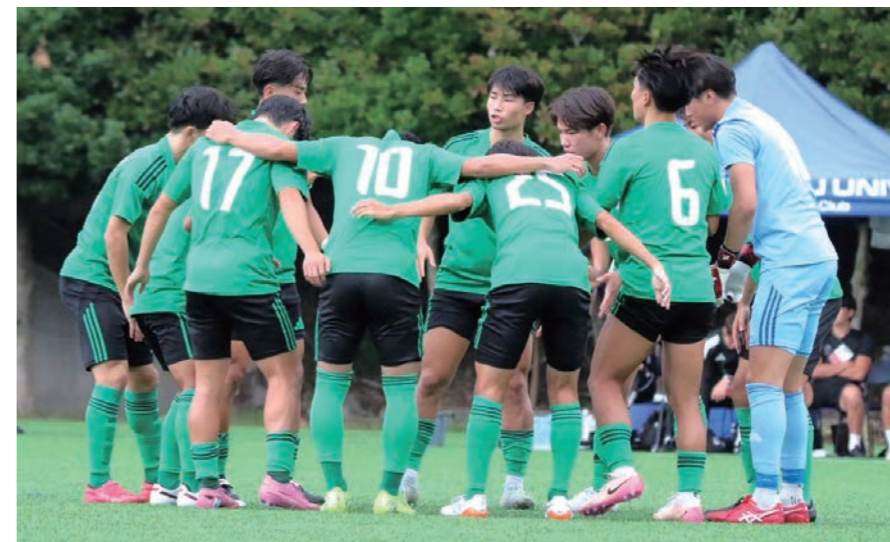
サッカー部

Soccer

強い専修を再び

創部 1962 (昭和37年)

- 寮部室 生田第2体育寮
- 練習場所 生田校舎北グラウンド
- 練習時間 火～金/6:00～8:40
土日祝/6:00～13:00
- 2026年度役員
- 部長 飯田義明(経済学部教授)
- 監督 李宇ヨン(文学部教授)



Web



X

創部は、昭和37(1962)年。創部14年で念願の関東リーグ入りを果たした。天皇杯全日本サッカー選手権に2度出場している。平成17(2005)年、関東大学サッカーリーグに念願の1部昇格を果たした。平成23(2011)年に1部初優勝、同年、全日本大学選手権に初出場し、初優勝を果たした。平成26(2014)年、関東大学リーグで優勝、4連覇を成し遂げた。限られた練習時間でも部員一丸となり、再び「大学日本一」を目指して、日々練習に励んでいる。

2025年の主な成績

- ◆関東大学サッカーリーグ 2部昇格

ゴルフ部

Golf

学生ゴルフ界のトップレベルを維持

創部 1963 (昭和38年)

- 寮部室 男子 生田第1体育寮
女子 生田第3体育寮
- 練習場所 あざみ野ゴルフガーデン
- 練習時間 毎日/19:00～20:30
- 2026年度役員
- 部長 羽川豊(プロゴルファー・専修大学評議員)
- 監督



創部以来の優勝者

- 学生時代戦歴
- 日本学生優勝(男子)
羽川豊(昭和55・商) 岡部太郎(平成元・商)
近藤智弘(平成12・商)
- 日本学生優勝(女子)
西川みさと(平成12・商) 横山倫子(平成19・文)
- 朝日杯優勝(男子)
羽川豊(昭和55・商) 4回 小浦和也(平成27・商) 2回
- 朝日杯優勝(女子)
荒井舞(平成26・経営) 高山佳小里(平成28・経営)
- 日本女子アマ優勝
文平友恵(平成5・商)
- 文部科学大臣杯優勝(男子)
福住修(経営4年)
小田祥平(文3年)

2025年の主な成績

- | | | |
|----|-------------------|-----|
| 男子 | ◆関東大学春季Aブロック対抗戦 | 6位 |
| | ◆全国大学対抗戦 | 6位 |
| | ◆関東大学秋季Aブロック対抗戦 | 6位 |
| | ◆常陸宮杯 | 10位 |
| 女子 | ◆関東女子大学春季Bブロック対抗戦 | 2位 |
| | ◆関東女子大学秋季Bブロック対抗戦 | 優勝 |
| | ◆常陸宮妃杯 | 11位 |

昭和38年、ゴルフ同好会としてスタートした。ゴルフ部は、他の運動部に勝るとも劣らない厳しい練習をモットーに、ゴルフを人間的成長の糧としながら、羽川豊、藤田寛之、横田真一、近藤智弘など多くのプロゴルファーを輩出し、常に学生ゴルフ界のトップレベルを維持している。

柔道部

Judo

目指せ日本一

創部 1932 (昭和7年)

- 寮部室 生田第1体育寮
- 練習場所 生田校舎総合体育館柔道場
- 練習時間 平日/18:30～20:30
土日/9:30～12:30
- 2026年度役員
- 部長 鈴木健郎(国際コミュニケーション学部教授)
- 監督 関龍聖(専修大学)



柔道部は、昭和10(1935)年に講道館の紅白試合に出場する頃から体制が整い、本格的な活動を開始した。戦後の部史の中で大きな出来事のひとつは、昭和58(1983)年、生田校舎に完成した創立100周年記念総合体育館内の柔道場開設である。204畳という広大な道場の完成を機に選手強化も進み、全国で強豪校に入る実力を備えるようになっていく。

2025年の主な成績

- ◆全日本学生柔道 WINTER CHALLENGE TOURNAMENT 2025 81kg級 鎌倉啓太郎(経営3) 優勝
- ◆全日本学生柔道優勝大会 団体 ベスト16

準硬式野球部

Rubber Baseball

優勝の実績を重ねて

創部 1948 (昭和23年)

寮部室 生田第1体育寮
練習場所 生田校舎練習場ほか
練習時間 火～金/15:00～18:00
 土日祝/ 9:00～12:00
2026年度役員
部長 菱山淳(商学部教授)
監督 高井祐人(専修大学)



Web



X



Instagram

昭和23(1948)年、軟式野球クラブとして発足。翌年には東都大学軟式野球連盟が結成され、その創立メンバーとなった。昭和25(1950)年に連盟が準硬式ボールを採用するにともない、準硬式野球部と名称を変更し、東都大学準硬式野球リーグに参戦。同年の秋季リーグにおいて早くも初優勝を飾った。部史のなかで最も輝くのは、昭和53(1978)年からの連続5シーズン優勝という快挙である。近年では令和3(2021)年、全国大会で準優勝するなど活躍を続けている。

2025年の主な成績

- ◆ 第67回関東地区大学準硬式野球選手権大会 ベスト4
- ◆ 東都大学準硬式野球春季リーグ戦 3位
- ◆ 第77回全日本大学準硬式野球選手権大会 ベスト8
- ◆ 東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 優勝
- ◆ 第47回関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦 優勝

スキー部

Ski

継続こそ力なり。国際大会でも活躍

創部 1922 (大正11年)

寮部室 男子 生田第2体育寮
 女子 生田第3体育寮
練習場所 生田校舎総合体育館トレーニング室
 および生田校舎近隣地
練習時間 月～金/16:30～20:00
 土/ 7:00～ 9:00
2026年度役員
部長 塙武郎(経済学部教授)
監督 小林豊



Facebook

創部当時は「山岳スキー部」という名称であった。昭和21(1946)年に「スキー部」となったが、実質は部員5名の同好会的な活動であった。その後目覚ましい活躍をし、昭和41(1966)年に全日本学生スキー選手権で1部昇格。平成4(1992)年1月、ついに学生スキー界の頂点に立った。この間、オリンピック・ユニバーシアードなどで活躍する選手を数多く送り出している。フリースタイルスキー・ハーフパイプでソチ五輪・銅メダルを獲得した小野塚彩那選手や、令和4(2022)年、北京五輪に出場した馬場直人選手も卒業生である。

2025年の主な成績

- ◆ 学生チャンピオンズスキー大会 男子GS 優勝
- ◆ 第99回秩父宮杯 男子ノーマルヒル 3位
- 男子コンパインド 4位
- 男子リレー 7位
- 女子リレー 7位
- 男子GS 4位
- 男子総合 7位
- 女子総合 10位

水泳部

Swimming

「泳力」と「投力」、双方の分野で大活躍

創部 1937 (昭和12年)

寮部室 生田第1体育寮
練習場所 生田校舎総合体育館プール
練習時間 競泳：月～金/ 6:30～ 8:30
 月水金/16:30～19:00
 土/ 6:30～ 9:00
 水球：火～金/18:30～20:45
 土/ 9:00～11:30
 15:00～18:00
 日/10:00～13:00
2026年度役員
部長 佐竹弘靖(ネットワーク情報学部教授)
監督代行 競泳：佐竹弘靖(ネットワーク情報学部教授)
監督 水球：田村正明



X
(競泳)



X
(水球)

専らに水泳の同好会組織が生まれたのは、昭和12(1937)年。それからちょうど30年後の昭和42(1967)年に関東学生選手権で総合優勝、その10年後の昭和52(1977)年、女子選手が初めて入部して活躍を始めた。さらに10年後の昭和62(1987)年に日本学生選手権で女子が初の総合優勝を飾った。また、関東学生水球リーグ戦で376連勝中の日本体育大学を撃破して優勝したのも専大水球チームであり、近年では、日本選手権水泳競技大会水球競技に7年連続で出場を果たしている。

2025年の主な成績

- | | | |
|----|------------------------------------|---------|
| 競泳 | ◆ 関東学生選手権水泳競技大会 男子団体 | 11位(1部) |
| | 女子団体 | 優勝(2部) |
| 水球 | ◆ 日本学生選手権水泳競技大会 男子4×100mメドレーリレーB決勝 | 5位 |
| | 女子4×100mフリーリレーB決勝 | 7位 |
| | ◆ 関東学生リーグ戦 | 2位 |
| | ◆ 日本学生選手権水泳競技大会水球競技 | 3位 |
| | ◆ 日本選手権水泳競技大会水球競技 | ベスト8 |

スピードスケート部

Speed Skate

W杯・オリンピックに記録を刻みながら滑走

創部 1947 (昭和22年)

寮部室 生田第2体育寮
練習場所 生田校舎総合体育館、西グラウンド他
練習時間 月～金/ 7:00～ 8:00
 16:30～19:30
 土/ 9:00～12:00
 15:00～18:00
2026年度役員
部長 目黒良門(経営学部教授)
監督 近藤太郎



昭和22(1949)年山岳スキー部に所属する形でスタートしたが、すぐに体育会スケート部として独立した。昭和35(1960)年冬季スコーパーレオリンピックではじめて女子種目が開催され、OGの高見沢初枝選手が3種目で入賞した。3000mでは3位とわずか0.3秒差で銅メダルを逃したが、ここから専大スピードスケート部の国際的な活躍、栄光の歴史がスタートした。以降、黒岩彰、堀井学、糸川敏彦、近藤太郎をはじめ多くのオリンピック選手を輩出しながら今日に至っている。令和4(2022)年北京五輪には、在学生の森重航と卒業生の土屋良輔が出場。また、低酸素室トレーニング等の科学トレーニングに先鞭をつけたスピードスケート部の存在は大きい。

2025年の主な成績

- ◆ ワールドカップ カルガリー、ミルウォーキー、トマシヨフマゾヴィエツキ、ヘレンバーン大会 軍司一牙(経営3) 日本代表出場
- ◆ ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会 辻本楓芽(経営2) 500m 2位
- ◆ 全日本スピードスケート距離別選手権大会 笠原光太郎(経営4) 1500m 優勝
- ◆ ワールドカップ ソルトレークシティ、カルガリー、ヘレンバーン、ハーマル大会 笠原 日本代表出場
- ◆ 日本学生氷上競技選手権大会(インカレ) 男子総合 優勝(史上最高得点)

相撲部

Sumo

アマチュア相撲界の名門として

創部 1923 (大正12年)

寮部室 生田第1体育寮別館II
練習場所 生田校舎第1体育寮別館II 相撲道場
練習時間 月～金/18:30～20:30
 土/9:00～11:00

2026年度役員
部長 王伸子(国際コミュニケーション学部教授)
監督 蒲田勝太(専修大学)



相撲部は、大正12(1923)年、関東大震災が発生した年に正式に誕生した。以来、厳しい稽古と礼儀をモットーとしながら、大学相撲界で実力を発揮してきた。平成2(1990)年には全国学生相撲選手権大会において、創部72年目にして悲願の団体戦優勝に輝くなど、一つの時代を築いた。また、大相撲で元大関武双山の藤島親方(本名:尾曾武人さん)・元幕内大道の阿武松親方(本名:中西健二さん=平17経営)をはじめ、多くの専修大学出身者が活躍している。

2025年の主な成績

- ◆全日本体重別選手権大会
75kg未満級 羽内陽向(商4) 優勝(2年連続)
- ◆全日本女子相撲選手権大会 河本優心(経済1) 3位

卓球部

Table Tennis

世界チャンピオンを輩出した栄光を誇りに

創部 1924 (大正13年)

寮部室 男子 生田第1体育寮
 女子 生田第3体育寮
練習場所 生田校舎総合体育館 卓球場A・B
練習時間 火～金/17:00～21:00
 土日祝/9:00～12:00
 14:00～17:00

2026年度役員
部長 是永隆文(経営学部准教授)
監督 男子:高宮啓(専修大学)
 女子:加藤充生樹(専修大学)



専大卓球部の長い歴史の中で、全盛期を迎えたのは昭和30年代後半から40年代にかけてである。40年代の世界選手権では、延べ19人もの代表選手を送り出し、3人の世界チャンピオンを生んでいる。こうした先輩たちの栄光の歴史を引き継ぐのは大変なことだが、大学卓球界屈指の強豪校であり続けるよう、部員一丸となって精進し、結果を残している。

2025年の主な成績

- | | | | |
|-----------|--|-----------|---|
| 男子 | ◆春季リーグ 優勝 ◆秋季リーグ 3位
◆全日本大学総合選手権大会(団体の部) ベスト8
◆全日本大学総合選手権大会(個人の部) 田中京太郎(文3) シングルス ベスト16 | 女子 | ◆春季リーグ 3位 ◆秋季リーグ 5位
◆全日本大学総合選手権大会(個人の部) 首藤成美(文2) ベスト8
◆全日本学生選抜選手権大会 首藤 ベスト8 |
|-----------|--|-----------|---|



ソフトテニス部

Soft Tennis

日本発祥のスポーツに情熱をかたむけ

創部 1921 (大正10年)

寮部室 生田校舎第3自治会館
練習場所 生田校舎テニスコート(10号館前テニスコート)
練習時間 平日/自主練習
 土日/10:00～17:00

2026年度役員
部長 森田司郎(法学部教授)
監督 上野儀一



Instagram

専大テニス部の創部は大正10(1921)年。明治41(1908)年以降、軟式テニスは学校スポーツとして全国に普及していったが、本学のテニス部もここをルーツとしている。戦後復活した軟式テニス部(現ソフトテニス部)は、昭和40年代に入ると関東学生リーグの3部を確保し、やがて1部昇格へとつながっていったのである。現在は、関東学生リーグ1部復帰を目指し練習に励んでいる。

2025年の主な成績

- ◆東日本学生ソフトテニス選手権
川崎涼吾(ネット3)・三浦瑠斗(ネット4)組 ベスト32

テニス部

Tennis

男女ともに関東の実力チームとして

創部 1963 (昭和38年)

寮部室 女子 生田第3体育寮
練習場所 男子:伊勢原総合グラウンド テニスコート
 女子:生田校舎西グラウンド
練習時間 男子:月～金/授業時間以外の時間(9:00～21:00)
 土日祝/9:00～17:00
 女子:月～金/13:30～16:30
 土日祝/9:00～17:00

2026年度役員
部長 谷守正行(商学部教授)
監督 男子:鈴木崇司
 女子:平田大輔(文学部教授)



Web Facebook Instagram

専大テニス部は、昭和38(1963)年に発足した。その後の躍進は目覚しく、社会人を含めた全日本クラスの選手を輩出している。また、女子は平成4(1992)年に全日本大学対抗テニス王座決定試合で優勝、日本一に輝いた。平成25(2013)年に男子も1部復帰を果たしたが、残念ながら翌年降格。今年度は男女とも1部復帰を目標に日々練習に取り組んでいる。

2025年の主な成績

- | | | | |
|-----------|----------------------------------|-----------|----------------------------------|
| 男子 | ◆関東大学リーグ戦 3部優勝
◆全日本学生選手権大会 出場 | 女子 | ◆関東大学リーグ戦 2部2位
◆全日本学生選手権大会 出場 |
|-----------|----------------------------------|-----------|----------------------------------|



馬術部

Equestrian

大学日本一の座を競いながら

創部 1922 (大正11年)

寮部室 伊勢原体育寮別館
練習場所 伊勢原総合グラウンド馬場
練習時間 月～土 / 6:00～9:00
 14:00～19:00

2026年度役員
部長 飯田巴貴(商学部准教授)
監督 西山慶太(専修大学)



Web



Facebook

馬術部の創設は、大正11(1922)年だが、指導には主に大学の配属将校があたったと記録が残っている。純粋なスポーツ馬術として普及したのは戦後である。昭和47(1972)年伊勢原グラウンドに専用の馬場が完成し、一挙に馬術部の実力が向上した。この恵まれたトレーニング環境のもと、優れた能力を持つ自馬も所有できるようになった。全日本学生馬術大会で各種目ごとや総合でも優勝を重ね、大学馬術部の名門としての地位が確立されている。

2025年の主な成績

- ◆ 関東学生馬術競技大会賞典障害馬術競技 武南友陽(経済2) 優勝
- ◆ 全日本学生馬術競技大会 障害飛越競技 松岡凜桜(文1) 3位
- 総合馬術競技 岡田将太郎(経済2) 3位

バドミントン部

Badminton

“さらなる躍進の年に”を誓って邁進

創部 1961 (昭和36年)

寮部室 女子:生田第3
 男子:なし
練習場所 生田校舎第1体育館
練習時間 火水木 / 17:00～21:00
 土日 / 9:00～13:00

2026年度役員
部長 渡辺英次(文学部教授)
監督 小塩信



Facebook



Web

専大バドミントン部は昭和36(1961)年に同好会としてスタートした。その後の躍進ぶりはめざましく、昭和55(1980)年に関東大学リーグの1部入りを果たした。世界学生選手権にも学生日本代表としてたびたび選手を送り出しており、卒業生には全日本クラスの選手も多い。男子部も活動している。

2025年の主な成績

- 女子**
- ◆ 関東大学バドミントン秋季リーグ戦 2部優勝(1部昇格)
 - ◆ 全日本学生バドミントン選手権大会 出場
- 男子**
- ◆ 関東大学バドミントン秋季リーグ戦 3部B2位
 - ◆ 全日本学生バドミントン選手権大会 出場

バスケットボール部

Basketball

日本一奪還に向けてチャレンジ

創部 男子 1946 (昭和21年)
 女子 1978 (昭和53年)

寮部室 男子 生田第1体育寮
 女子 生田研修館5F
練習場所 生田校舎総合体育館アリーナ
練習時間 男子: 月～金 / 18:40～21:00
 土 / 13:00～16:00
 日祝 / 10:00～13:00
 女子: 月～金 / 16:40～18:40
 土日祝 / 10:00～12:00

2026年度役員
部長 阿藤正道(商学部教授)
監督 男子: 佐々木優一(専修大学)
 女子: 長南真由美



Web
 〈男子〉



Facebook
 〈男子〉



X
 〈女子〉



X
 〈男子〉

戦後すぐに創部された専大バスケットボール部は、確実にステップアップし、女子部を加え共に関東大学リーグの1部を維持している。平成14(2002)年、男子は創部57年目にして、悲願の全国大学ナンバーワンに輝いた。平成15(2003)年には関東大学リーグ戦で男女とも初優勝。平成16(2004)年には関東大学選手権において男子が初優勝。平成16年(2004)年には関東大学選手権において男子が初優勝。平成29(2018)年・平成30(2019)年には二年連続で全日本大学選手権大会において準優勝となった。

2025年の主な成績

- 男子**
- ◆ 第65回 関東大学バスケットボール新人戦 第5位
- 女子**
- ◆ 関東大学トーナメント戦 出場
 - ◆ 関東大学新人戦 8位
 - ◆ 関東大学リーグ戦 9位
 - ◆ 全日本大学選手権 出場

バレーボール部

Volleyball

全日本大学男子選手権優勝を

創部 1947 (昭和22年)

寮部室 マンション(学外施設)
練習場所 生田校舎総合体育館アリーナ
練習時間 月～金 / 18:00～21:00
 土日祝 / 9:00～12:00

2025年度役員
部長代行 吉岡達仁(専修大学)
監督 中原貴典



X

専大バレーボール部の創部は昭和22(1947)年で、その後着実に上位を目指してきた。創部から53年目の平成12(2000)年、関東学生バレーボールリーグ戦で1部に昇格し、平成22(2010)年再昇格するも平成23(2011)年秋に降格となってしまった。平成24(2012)年春季2部リーグ戦では全勝優勝を果たし、1部復帰となった。また、同年12月に行われた男子全日本大学選手権では、初のベスト4に進出した。最終目標は全日本大学選手権チャンピオンである。平成26(2014)年東日本インカレで創部以来初となる優勝を成し遂げ、令和6(2024)年全日本インカレでは、創部以来初となる優勝を成し遂げた。

2025年の主な成績

- ◆ 春季関東大学リーグ戦 11位
- ◆ 秋季関東大学リーグ戦 11位
- ◆ 全日本大学男子選手権大会 4位

フィギュアスケート部 *Figureskate*

多くの名選手を輩出、2017年から再始動

創部 1967 (昭和42年)

寮 部室 なし
 練習 場所 新横浜プリンスホテルスケートセンター等
 練習 時間 月～金 / 7:00～10:00
 19:00～21:00
 土 / 7:30～11:45

2026年度役員
 部長 目黒良門(経営学部教授)
 監督 真田莉恵子



専大フィギュアスケート部は昭和42(1967)年、アイススケート部の1部門としてスタートした。当部は、数々の著名な選手を排出し、レークプラシッド冬季オリンピックをはじめ、ユニバーシアード大会などの国際大会で活躍してきた。

2025年の主な成績

- ◆ 日本学生氷上競技選手権大会
 梶本将太(法4)・鈴木菜々音(法3)・
 岩本苺(法2)・嶋崎帆々渡(法1) 出場

ボクシング部 *Boxing*

名門復活。数多くの名選手を送り出す

創部 1926 (大正15年)

寮 部室 生田第一体育寮別館 I
 練習 場所 生田校舎第1体育館 ボクシング場
 練習 時間 平日 / 18:30～20:30
 土 / 10:00～12:00

2026年度役員
 部長 須田淳一(国際コミュニケーション学部教授)
 監督 小坂則夫



いまは主にプロスポーツとして脚光を浴びるボクシングが、その創生期を担ったのはアマチュア、それも大学の拳闘部である。大正末期、専修大学をはじめ慶應義塾大学、明治大学の3校に拳闘部が設けられた。なかでもリーダーとして支えてきたのは専大である。平成17(2005)年から3年連続全日本チャンピオンとなった川内将嗣選手(平20・商)が平成20(2008)年の北京オリンピックに出場を果たし、平成23(2011)年には山中慎介選手(平17・商)が、専修大学初のWBC世界バンタム級チャンピオンとなった。

2025年の主な成績

- ◆ 関東大学ボクシングリーグ戦 出場
- ◆ 文京区ボクシング大会 4戦4勝
- ◆ 大田区ボクシング大会 7戦5勝



Web



Instagram

フェンシング部 *Fencing*

歴史、実績ともに群をぬく

創部 1937 (昭和12年)

寮 部室 男子 生田第1体育寮
 女子 生田第3体育寮
 練習 場所 生田校舎総合体育館 フェンシング場
 練習 時間 月～金 / 17:00～20:00
 日 / 10:00～13:00

2026年度役員
 部長 上原正博(国際コミュニケーション学部教授)
 監督 前畑順一



X

フェンシング部創部は昭和12(1937)年である。日本フェンシング協会が発足する半年前である。現在はその伝統を受け継ぎ、男女共、学生フェンシング界のトップレベルの実力を維持しており歴史・実績共に名門中の名門といっている。その栄光を受け継ぎ、さらに鮮やかな剣さばきを目指している。

2025年の主な成績

- 男子
 - ◆ 関東学生フェンシング連盟リーグ戦 エベ団体 優勝
 - ◆ 関東学生フェンシング選手権大会 エベ 熊谷志孔(商2) 優勝
- 女子
 - ◆ 全日本学生フェンシング選手権大会 フルレ 原田奈乃羽(商4) 8位
 サンプル 亀川満里菜(商3) 7位

野球部 *Baseball*

東都大学リーグ戦で最多の優勝32回の実績

創部 1925 (大正14年)

寮 部室 伊勢原体育寮
 練習 場所 伊勢原総合グラウンド 野球場
 練習 時間 土日 / 8:30～17:00
 平日 / 16:30～19:00
 19:00～21:00

2026年度役員
 部長 石原裕也(商学部教授)
 監督 町田公二郎



専大野球部の創部は大正14(1925)年、「東都に専大あり」と全盛期を誇り、東都大学リーグ戦1部で最多の優勝32回の偉業を成し遂げた。現在でもこの記録は破られていない。プロ野球で活躍するOBも多い。平成26(2014)年秋季リーグ戦入替戦に勝利し、4季ぶりに復帰した1部リーグで26年ぶりに優勝を果たした。勢いをそのまま、大学日本一を目指して練習に励んでいる。

2025年の主な成績

- ◆ 東都大学春季リーグ戦 2部2位
- ◆ 東都大学秋季リーグ戦 2部2位



Web



Instagram

ラグビー部

Rugby Football

リーグ戦グループの強豪として歩む

創部 1929 (昭和4年)

寮部室 伊勢原体育寮

練習場所 伊勢原総合グラウンドラグビー場

練習時間 火～金/18:00～20:00
土日祝/ 9:00～12:00

2026年度役員

部長 小西恵美(経済学部教授)

監督 石倉俊二



Web



X

2025年の主な成績

- ◆ 関東大学リーグ戦 2部2位

ラグビー部は昭和4(1929)年に創部。昭和42(1967)年、関東大学ラグビーはリーグ戦グループと対抗戦グループに分かれた。当部は関東大学リーグ戦創設となったチームのひとつで、グループの強豪としての地位を極めた。昭和43(1968)年に初優勝、昭和57(1982)年には全勝優勝を果たした。リーグ戦1部優勝5回、大学選手権ベスト4が3回という実績を持つ。平成14(2002)年、入替戦に敗退し初の2部降格。平成26(2014)年入替戦に勝利し13年ぶりの一部復帰を果たした。翌年降格も、平成29(2017)年2部で全勝優勝。入替戦に勝利し、3季ぶりの1部復帰。平成30(2018)年1部2勝、令和元(2019)年1部3勝し、19年ぶりの5位という実績を残した。令和3(2021)年入替戦に敗れ、2部降格。

レスリング部

Wrestling

チームワークの先に個人技の冴えを

創部 1935 (昭和10年)

寮部室 生田第1体育寮

練習場所 生田校舎第2体育館

練習時間 平日/17:00～20:00
土/ 9:30～12:30

2026年度役員

部長代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・体育部長)

監督 木村元彦(専修大学)



Facebook

2025年の主な成績

- ◆ U23世界選手権 2名出場、3位1名
- ◆ 全日本学生レスリング選手権大会 優勝3名、2位1名、3位3名
- ◆ 東日本学生リーグ戦 9位
- ◆ 明治杯全日本選抜選手権大会 2位2名、3位1名
- ◆ 全日本大学選手権 団体8位、2位1名、3位1名
- ◆ 全日本大学グレコ選手権 団体6位、優勝1名、3位1名
- ◆ 東日本学生選手権秋季大会 優勝3名、2位4名、3位3名
- ◆ 天皇杯全日本レスリング選手権 2位1名、3位1名

レスリング部は、昭和7(1932)年に開催されたロサンゼルスオリンピックのレスリング種目に啓発されて、昭和10(1935)年に創部された。戦後になり、昭和43(1968)年のメキシコ大会からバルセロナ大会まで多数のオリンピック選手を輩出。金メダルと銅メダルを2個ずつ日本にもたらしている。目標は、大学団体日本一である。

陸上競技部

Athletics

“箱根駅伝 伝統校”の名を再び

創部 1924 (大正13年)

寮部室 生田第2体育寮

練習場所 世田谷区立運動公園・専修大学伊勢原トラック

練習時間 平日/ 5:30～7:30
16:30～19:00
土日祝/ 5:30～7:30
10:30～12:00

2026年度役員

部長 宮岡孝之(専修大学理事)

監督 長谷川淳(専修大学)



Web



X



Instagram

2025年の主な成績

- ◆ 2025年1月 第101回箱根駅伝 総合17位
- ◆ 日本学生ハーフマラソン選手権大会 ダンカン・マイナ(商2) 専修大学記録樹立

大正13(1924)年に創部。昭和9(1934)年に東京箱根間往復大学駅伝競走に初参加し、昭和14(1939)年に初優勝を遂げる。戦前・戦後を通じて、中距離・長距離競走を得意分野として、その力を駅伝に集約させてきた。現在、駅伝伝統校の復活を目指して、部員達はハードな練習と厳しい合宿に耐えている。平成28(2016)年12月より長谷川淳監督となり、第97回箱根駅伝本戦に7年振りに出場、第101回大会まで72回の出場を果たしている。

ローラースケート部

Roller Skate

全日本学生22連覇の実績を受けついで

創部 1959 (昭和34年)

★後にスケート部から独立

寮部室 なし

練習場所 生田校舎運動用地・西グラウンド

練習時間 平日/17:00～21:00
土日/ 9:00～14:00

2026年度役員

部長 坂詰智美(法学部教授)

監督代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・体育部長)



X

2025年の主な成績

- 男子** ◆ 全日本学生選手権大会 3位
- 女子** ◆ 全日本学生選手権大会(学連選抜参加) 5位

専大のローラースケート部門は当初、スケート部の中にあり、昭和44(1969)年にローラースケート部として独立した。独立する前の昭和30年代から学生ローラースケート連盟のリーダー役となり、昭和63(1988)年には全日本学生選手権22年連続、28回目の優勝を遂げるなど他の追随を許さない輝かしい戦績を残してきた。



合気道部

2026年度役員
部長 永江雅和(経済学部教授)
監督 小谷田洋一

練習場所 生田校舎総合体育館柔道場
明治神宮武道場至誠館
神田校舎体育室3
千代田スポーツセンター

練習時間 月/ 9:00~10:30 木/15:30~17:00
火/15:30~17:30 金/10:45~12:15
18:30~20:00 土/15:00~17:00
水/13:05~14:35

2025年の主な成績

◆全日本学生合気道演武大会
出場



居合道部

2026年度役員
部長 日高義博(専修大学総長)
監督 山田学

練習場所 生田校舎総合体育館
卓球場B

練習時間 月/17:30~20:00
土/18:00~20:00

2025年の主な成績

◆第58回東日本学生居合道大会
出場
◆第29回多摩西地区交流居合道大会
出場



空手部

2026年度役員
部長 嶋根克己(人間科学部教授)
監督 芦口健

練習場所 生田校舎第2体育館剣道場
神田校舎体育室3
千代田スポーツセンター

練習時間 月~金/12:30~14:30
土・日/14:30~17:45

2025年の主な成績

◆日本空手道松濤會創立90周年
記念式典演武大会 出場
◆第58回日本空手道松濤會学生連盟
演武大会 出場



弓道部

2026年度役員
部長 飯考行(法学部教授)
監督 高木泰平

練習場所 生田校舎 弓道場

練習時間 火・水・金/17:00~19:00
土/10:00~13:00

2025年の主な成績

男子
◆第72期リーグ戦3部 2位



山岳部

2026年度役員
部長 小林昭裕(経済学部教授)
監督 佐久間亮太

練習場所 生田緑地周辺

練習時間 水・金/17:00~20:00

2025年の主な成績

◆霞沢岳南尾根



自動車部

2026年度役員
部長 小池隆生(経済学部教授)
監督 下平貴司

練習場所 自動車部ガレージ
ほか

練習時間 火/15:00~18:00
土/10:00~18:00

2025年の主な成績

◆全関東学生ジムカーナ選手権大会
4位
◆全関東学生ダートトライアル選手権大会
3位



射撃部

2026年度役員
部長代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・
体育部長)
監督 米本勝

練習場所 中央区立総合
スポーツセンター

練習時間 土・日/18:30~21:30

2025年の主な成績

◆全日本学生スポーツ射撃選手権大会
出場



少林寺拳法部

2026年度役員
部長 佐藤岳詩(文学部教授)
監督 河原井敦

練習場所 生田校舎第1体育館
生田校舎総合体育館柔道場

練習時間 月・水・金/17:00~21:00

2025年の主な成績

◆関東学生大会
単独茶帯 1位
女子初段 3位
◆全日本学生大会
女子白緑帯 4位



体操部

2026年度役員
部長代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・
体育部長)
監督 宮嶋敏幸

練習場所 学外

練習時間 木・土/17:00~20:00



東洋伝拳法部

2026年度役員
部長 内藤光博(法学部教授)
監督 斉藤俊輝

練習場所 生田校舎第1体育館
ボクシング場

練習時間 月~金/14:00~16:00
土・日/14:00~16:00

2025年の主な成績

◆第94回全日本学生キックボクシング
選手権大会 フライ級 チャンピオン
◆第94回全日本学生キックボクシング
選手権大会 団体戦 3位



日本拳法部

2026年度役員
部長 小場瀬琢磨(法学部准教授)
監督 浅田和義

練習場所 生田校舎第1体育館
ボクシング場

練習時間 月~金/16:30~18:00
土/16:30~20:00

2025年の主な成績

◆第2・3・4回 本部昇段級審査会



ハンドボール部

2026年度役員
部長代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・
体育部長)
監督 藤島充士

練習場所 生田校舎第1体育館

練習時間 月・金/17:00~21:00
土/13:00~17:00

2025年の主な成績

◆関東学生ハンドボール 春季リーグ戦
3部2位
◆関東学生ハンドボール 秋季リーグ戦
3部6位



ボウリング部

2026年度役員
部長 国田清志(商学部教授)
監督 須賀稔

練習場所 ムサシボウル

練習時間 月・木/17:30~19:30

2025年の主な成績

◆関東学生春季レギュラーリーグ
1部3位
◆関東学生ボウリング選手権
5人チーム戦 6位



ボディビル部

2026年度役員
部長代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・
体育部長)
監督 藤原圭介

練習場所 生田校舎総合体育館
トレーニングルーム

練習時間 月・金/17:00~19:00
土/14:00~16:00

2025年の主な成績

◆オールジャパンjr
172センチ以下級 10位
◆全日本学生フィジーク選手権大会
176センチ超級 8位
◆AFEX Korea sports model jr class
TOP 6



ヨット部

2026年度役員
部長代行 鈴木健郎
(国際コミュニケーション学部教授・
体育部長)
監督 古市和也

練習場所 江ノ島ヨットハーバー

練習時間 土/8:00~17:00
日/8:00~17:00

ホッケー同好会

2026年度役員
部長 宇佐美嘉弘(経営学部准教授)
監督 有馬哲朗

練習場所 生田校舎
ローラーホッケー場

練習時間 月・木/16:00~18:30
土/15:00~18:00

2025年の主な成績

◆関東学生ホッケー春季リーグ
3部2位
◆関東学生ホッケー秋季リーグ
3部4位



ローバースカウト同好会

2026年度役員
部長 剣持匠一(専修大学)
監督 廣田政伸

練習場所 生田校舎第3学生
自治会館B1部室

練習時間 水/12:15~13:00
土/10:00~15:00

2025年の主な成績

◆第58回日本ボーイスカウト東京連盟
ローバースカウト100キロハイク
◆下北半島夏合宿
◆第48回隅田川花火大会奉仕
◆第40回浅草サンパカーニバル奉仕
◆東京マラソン2025奉仕

近年のオリンピック大会出場者

2004年～2026年
◆印はOB・OGとして参加

オリンピック 夏季大会

第28回 アテネ大会 2004(平成16)年	◆黒田 博樹(野球部)	投手銅メダル
第29回 北京大会 2008(平成20)年	◆川内 将嗣(ボクシング部)	ライトウエルトー級
第30回 ロンドン大会 2012(平成24)年	◆平田 京美(フェンシング部)	女子フルーレ団体7位入賞
	◆根岸 淳(馬術部)	総合馬術個人/総合馬術団体
第32回 東京大会 2021(令和3)年	◆島村 智博(フェンシング部)	男子サーブル個人34位/男子サーブル団体9位
第33回 パリ大会 2024(令和6)年	甲斐 優斗(バレーボール部)	バレーボール7位
	原田 周大(ボクシング部)	ボクシング57kg級5位
	◆菊池 小巻(フェンシング部)	フルーレ団体銅メダル
	◆野口 宜裕(ラグビー部)	7人制ラグビー12位

オリンピック 冬季大会

第21回 バンクーバー大会 2010(平成22)年	◆出島 茂幸(スピードスケート部)	5000m/チームバシュート8位入賞
第22回 ソチ大会 2014(平成26)年	◆小野塚彩那(スキー部)	フリースタイルスキーハーフパイプ銅メダル
	近藤 太郎(スピードスケート部)	1000m/1500m
第23回 平昌大会 2018(平成30)年	◆小野塚彩那(スキー部)	フリースタイルスキーハーフパイプ5位入賞
	◆土屋 良輔(スピードスケート部)	10000m/5000m/マススタート
第24回 北京大会 2022(令和4)年	森重 航(スピードスケート部)	500m銅メダル/1000m
	◆土屋 良輔(スピードスケート部)	10000m/マススタート6位入賞
	◆馬場 直人(スキー部)	15km+15kmスキージャスロン/4×10kmリレー/50kmフリー
第25回 ミラノ・コルティナ大会 2026(令和8)年	◆馬場 直人(スキー部)	10km+10kmスキージャスロン/10kmフリー/50kmマススタート
	◆蟻戸 一永(スピードスケート部)	チームバシュート
	◆野々村太陽(スピードスケート部)	1000m/1500m
	◆森重 航(スピードスケート部)	500m

近年のアジア大会出場者

2004年～2026年
◆印はOB・OGとして参加

アジア 競技大会

第17回 仁川大会 (韓国)2014(平成26)年	◆川内 将嗣(ボクシング部)	ライトウエルトー級銅メダル
	◆島村 智博(フェンシング部)	サーブル個人・団体
	◆荒木田進謙(レスリング部)	フリースタイル125kg級銅メダル
	小浦 和也(ゴルフ部)	個人19位タイ/団体5位タイ
第18回 ジャカルタ・パレンバン大会 (インドネシア)2018(平成30)年	菊池 小巻(フェンシング部)	フルーレ女子団体金メダル
	安藤みなみ(卓球部)	女子団体ベスト8/個人ベスト16
	◆島村 智博(フェンシング部)	サーブル男子団体6位
第19回 杭州大会 (中国)2023(令和5)年	齋藤 華南(フェンシング部)	エペ団体銅メダル
	原田 周大(ボクシング部)	57kg級銀メダル/パリ五輪出場権獲得
	◆吉澤 和紘(馬術部)	総合馬術団体銀メダル/個人銅メダル
	◆西野 曜(バスケットボール部)	8位
	◆菊池 小巻(フェンシング部)	フルーレ団体銅メダル

アジア 冬季競技大会

第7回 アスタナ・アルマティ大会 (カザフスタン)2011(平成23)年	◆大森菜保子(スキー部)	スキー距離スプリント(クラシカル)5位/ チームスプリント(フリー)3位/15kmクラシカル6位
第8回 札幌大会 (日本)2017(平成29)年	馬場 直人(スキー部)	15kmフリー銀メダル/30kmフリー5位/ 10kmクラシカル7位/1.4kmスプリント15位/ リレー(4×7.5km)金メダル
	◆土屋 良輔(スピードスケート部)	5000m銀メダル/10000m銀メダル/ チームバシュート銀メダル
	◆近藤 太郎(スピードスケート部)	1500m銅メダル
第9回 ハルビン大会 (中国)2025(令和7)年	笠原 光太郎(スピードスケート部)	1500m7位/5000m10位/チームバシュート(8周)銅メダル
	◆森重 航(スピードスケート部)	100m5位/500m銀メダル/チームスプリント銅メダル
	◆蟻戸 一永(スピードスケート部)	5000m8位/チームバシュート(8周)銅メダル

近年の世界選手権等出場者

2004年～2026年
◆印はOB・OGとして参加

ドイツ	2004年	9月	森川友紀子(ローラースケート部)	ローラーホッケー7位
ドイツ	2004年	9月	◆浜住 景子(ローラースケート部)	ローラーホッケー7位
ドイツ	2005年	2月	◆正木 誠(スキー部)	複合
ハンガリー	2005年	9月	◆田中 章仁(レスリング部)	フリースタイル120kg級
ドイツ	2005年	10月	◆福田 佑輔(フェンシング部)	フルーレ
ドイツ	2005年	10月	◆持田 彰久(フェンシング部)	エペ
ドイツ	2005年	10月	◆奥 雄(フェンシング部)	エペ
ドイツ	2005年	10月	◆山本 幸治(フェンシング部)	サーブル
中国	2006年	9月	北村 克哉(レスリング部)	フリースタイル120kg級
イタリア	2006年	9月	◆奥 雄(フェンシング部)	エペ
イタリア	2006年	9月	◆山本 幸治(フェンシング部)	サーブル
イタリア	2006年	9月	◆福田 佑輔(フェンシング部)	フルーレ団体7位/フルーレ個人8位
日本・北海道	2007年	2月	◆神津 正昭(スキー部)	複合
ロシア	2007年	9月	◆福田 佑輔(フェンシング部)	フルーレ
ロシア	2007年	9月	◆山本 幸治(フェンシング部)	サーブル
アメリカ	2007年	10月	川内 将嗣(ボクシング部)	ライトウエルトー級銅メダル/北京五輪出場権獲得
日本・長野	2008年	3月	◆出島 茂幸(スピードスケート部)	5000mチームバシュート
中国	2008年	4月	◆福田 佑輔(フェンシング部)	フルーレ団体6位/フルーレ個人
カナダ	2009年	3月	◆出島 茂幸(スピードスケート部)	チームバシュート8位
イタリア	2009年	8月	◆川内 将嗣(ボクシング部)	1回戦敗退
デンマーク	2009年	9月	荒木田進謙(レスリング部)	フリースタイル120kg級
デンマーク	2009年	9月	◆北村 克哉(レスリング部)	グレコローマンスタイル96kg級
トルコ	2009年	10月	◆福田 佑輔(フェンシング部)	フルーレ団体5位/フルーレ個人
トルコ	2009年	10月	◆山本 幸治(フェンシング部)	サーブル
トルコ	2009年	10月	◆島村 智博(フェンシング部)	サーブル
ロシア	2010年	9月	◆北村 克哉(レスリング部)	グレコローマンスタイル96kg級
ロシア	2010年	9月	◆稲葉 泰弘(レスリング部)	フリースタイル55kg級3位
チェコ	2010年	9月	◆三谷 藍(バスケットボール部)	10位
オーストラリア	2011年	7月	◆清水 謙(アメリカンフットボール部)	攻撃
オーストラリア	2011年	7月	◆鈴木将一郎(アメリカンフットボール部)	守備
オーストラリア	2011年	7月	◆渡辺 雄一(アメリカンフットボール部)	守備
オーストラリア	2011年	7月	◆青木 大介(アメリカンフットボール部)	キッキングスペシャリスト
トルコ	2011年	9月	◆荒木田進謙(レスリング部)	フリースタイル120kg級
アゼルバイジャン	2011年	9月	◆川内 将嗣(ボクシング部)	ライトウエルトー級
イタリア	2011年	10月	◆福田 佑輔(フェンシング部)	フルーレ
オーストリア	2013年	2月	◆清澤恵美子(スキー部)	アルペン
ノルウェー	2013年	3月	◆小野塚彩那(スキー部)	フリースタイルスキーハーフパイプ
ハンガリー	2013年	8月	◆島村 智博(フェンシング部)	サーブル
ハンガリー	2013年	9月	◆稲葉 泰弘(レスリング部)	フリースタイル55kg級
ハンガリー	2013年	9月	◆荒木田進謙(レスリング部)	フリースタイル120kg級
ロシア	2014年	7月	◆島村 智博(フェンシング部)	サーブル
ウズベキスタン	2014年	9月	◆鈴木 聖二(レスリング部)	フリースタイル97kg級
オランダ	2015年	2月	土屋 良輔(スピードスケート部)	マススタート ※世界距離別選手権
アメリカ	2015年	2月	◆小野塚彩那(スキー部)	ワールドカップフリースタイルスキーハーフパイプ総合優勝
アメリカ	2015年	7月	◆鈴木将一郎(アメリカンフットボール部)	守備(LB)2位
ロシア	2016年	2月	近藤 太郎(スピードスケート部)	距離別1000m
ロシア	2016年	2月	土屋 良輔(スピードスケート部)	距離別5000m・チームバシュート7位
フランス	2016年	3月	◆小野塚彩那(スキー部)	ワールドカップフリースタイルスキーハーフパイプ2年連続種目別総合優勝
ブラジル	2016年	4月	菊池 小巻(フェンシング部)	団体戦11位
中国	2016年	9月	座間 天平(ローラースケート部)	マラソン部門18位(日本新記録更新)
韓国	2017年	2月	土屋 良輔(スピードスケート部)	5000m7位(日本新記録更新)※世界距離別選手権
韓国	2017年	2月	近藤 太郎(スピードスケート部)	1500m19位 ※世界距離別選手権
スイス	2017年	2月	◆清澤恵美子(スキー部)	アルペン競技 スラローム種目 出場
ノルウェー	2017年	3月	土屋 良輔(スピードスケート部)	18位 ※世界オールラウンド選手権
スペイン	2017年	3月	◆小野塚彩那(スキー部)	フリースタイルスキーハーフパイプ 金メダル 男女通じ日本初
ドイツ	2017年	5月	◆田添 健汰(卓球部)	混合ダブルス ベスト8
オーストリア	2019年	2月	馬場 直人(スキー部)	50kmフリー21位/スキージャスロン24位/15kmクラシカル28位
カナダ	2019年	3月	◆土屋 良輔(スピードスケート部)	総合13位 ※世界オールラウンド選手権
ドイツ	2021年	3月	◆馬場 直人(スキー部)	15kmフリー19位/30kmスキージャスロン25位/4×10kmリレー9位
ノルウェー	2022年	3月	森重 航(スピードスケート部)	スプリント総合9位(500m6位、1000m20位、500m1位、1000m6位)
オランダ	2023年	3月	森重 航(スピードスケート部)	500m3位
オランダ	2023年	3月	野々村太陽(スピードスケート部)	1500m11位
オランダ	2023年	3月	◆土屋 良輔(スピードスケート部)	5000m10位、10000m6位
カナダ	2024年	2月	野々村太陽(スピードスケート部)	1000m11位、1500m18位
カナダ	2024年	2月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m4位/ワールドカップ500m種目別総合優勝
日本	2024年	11月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m8位
中国	2024年	12月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m7位
アメリカ	2025年	2月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m8位
ポーランド	2025年	2月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m4位
オランダ	2025年	3月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m9位
ノルウェー	2025年	3月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m5位
ベルー	2025年	3月	◆菊池 小巻(フェンシング部)	フルーレグランプリ大会金メダル 女子フルーレ個人日本初
カナダ	2025年	5月	◆菊池 小巻(フェンシング部)	女子フルーレ個人5位/団体銅メダル
日本	2025年	11月	◆野々村太陽(スピードスケート部)	1500m5位
日本	2025年	11月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m8位
中国	2025年	12月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m7位
オランダ	2025年	12月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m3位
アメリカ	2026年	2月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m8位
ポーランド	2026年	2月	◆森重 航(スピードスケート部)	500m4位

※「総合」は、500m、1500m、5000m、10000mの計4種目の総合成績を指す

近年のワールドユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード)大会出場者

2013年～2026年
◆印はOB・OGとして参加

※2023(令和5)年度より名称変更

夏季競技大会

第27回 カザン大会(ロシア)2013(平成25)年

長澤 和輝(サッカー部)	銅メダル
下田 北斗(サッカー部)	銅メダル
北爪 健吾(サッカー部)	銅メダル
仲川 輝人(サッカー部)	銅メダル
鈴木 李茄(卓球部)	女子団体金メダル/混合ダブルス金メダル
宇都 直輝(バスケットボール部)	18位
加藤 夕貴(バスケットボール部)	13位
平井 亜紀(バドミントン部)	国別対抗6位/女子ダブルス ベスト8
川村 理紗(フェンシング部)	フルール団体7位/フルール個人25位

第28回 光州大会(韓国)2015(平成27)年

高橋 礼(野球部)	金メダル
萩間 大樹(サッカー部)	銅メダル
福島 春樹(サッカー部)	銅メダル
鈴木 李茄(卓球部)	女子団体銅メダル
庄司 有貴(卓球部)	女子団体銅メダル/女子ダブルス銅メダル
高橋 拓也(バレーボール部)	6位
藤中 謙也(バレーボール部)	6位
高橋 風子(フェンシング部)	8位
菊池 小巻(フェンシング部)	8位
◆篠田 未来(バドミントン部)	日本代表

第29回 チャイニース・タイペイ大会(台北)2017(平成29)年

安藤みなみ(卓球部)	女子団体銀メダル/混合ダブルス銀メダル/女子ダブルス銅メダル
小笠原美奈(バスケットボール部)	銀メダル
座間 天平(ローラースケート部)	マラソン部門5位/3000mリレー6位

第30回 ナポリ大会(イタリア)2019(令和元)年

野口 宜裕(ラグビー部)	男子7人制金メダル
市村 朋也(水泳部)	男子水球5位
◆安藤みなみ(卓球部)	女子団体銀メダル/女子ダブルス銅メダル/女子シングルス5位/混合ダブルスベスト8
◆渡部友里奈(バスケットボール部)	4位

成都大会(中国)2023(令和5)年

中山 弘翔(水泳部)	男子水球8位
三谷 有輝(水泳部)	男子水球8位
久保 勝也(水泳部)	男子水球8位
船場 清華(卓球部)	女子団体銀メダル
出澤 杏佳(卓球部)	女子団体銀メダル/女子シングルス銀メダル
浅野 ケニー(バスケットボール部)	団体12位
甲斐 孝太郎(バレーボール部)	団体11位
齋藤 華南(フェンシング)	エペ団体4位/個人14位
◆木村 香純(卓球部)	女子団体銀メダル/混合ダブルスベスト8

冬季競技大会

第26回 トレンティーノ大会(イタリア)2013(平成25)年

清水亜久里(スキー部)	ノルディック複合個人マスタート金メダル/個人グンダーセン銅メダル/ノルディック複合団体銅メダル
近藤 太郎(スピードスケート部)	1000m9位/1500m13位
土屋 良輔(スピードスケート部)	5000m10位/10000m9位

第27回 ストラブスケブレゾ・オスブルエ・グラナダ大会 2015(平成27)年

◆清水亜久里(スキー部)	ノルディック複合団体銀メダル/マスタート10位
石川謙太郎(スキー部)	10kmクラシカル25位/30kmマスタート40位/1.6kmスプリントフリー32位/4×7.5kmリレー5位

第28回 カザフスタン・アルマティ大会 2017(平成29)年

小川 翔也(スピードスケート部)	チームバシュート銀メダル/10000m 4位/5000m 5位
馬場 直人(スキー部)	リレー(4×7.5km) 4位/バシュート10kmフリー 6位
◆小坂 龍(スピードスケート部)	1000m銅メダル/1500m 5位

第29回 ロシア・クラスノヤルスク大会 2019(平成31)年

馬場 直人(スキー部)	30kmフリー 金メダル/4×7.5kmリレー団体4位
-------------	-----------------------------

アメリカ・レークプラシッド大会 2023(令和5)年

森重 航(スピードスケート部)	500m金メダル/1000m 4位
蟻戸 一永(スピードスケート部)	チームバシュート金メダル/1500m銅メダル/5000m銅メダル/マスタート11位
野々村太陽(スピードスケート部)	1500m金メダル/1000m銀メダル/500m 7位
谷垣 優斗(スピードスケート部)	チームバシュート金メダル/5000m13位/マスタート13位
笠原光太郎(スピードスケート部)	混合リレー 銀メダル/1500m 5位

イタリア・トリノ大会 2025(令和7)年

坂井 冠太(スキー部)	20kmクラシカル 9位/10kmフリー25位/1.5kmスプリント競技53位/4×7.5kmリレー 金メダル
-------------	---

体育会学生への支援

〈コンディショニングセミナー〉

体育会学生のパフォーマンス向上のためのセミナーを企画しています。令和7年度は「熱中症対策アンバサダーとなって夏の練習環境を守ろう」「セルフコンディショニングについて」などの講演を行いました。製薬会社の方に酷暑下でスポーツをする選手向けの対応策などを話していただいたり、学内のトレーナールームでサポートいただいているトレーナーの方に運動準備に際して自分で出来るストレッチやアイシングなどを実技も交えながら教えていただいたりしました。

〈キャリア相談会を開催〉

公式戦と採用スケジュールが重なることや、練習等の都合によりインターンシップへ参加しにくく、自信の将来に向けた活動が思うように進まないといった体育会学生特有の課題を解決するため、キャリア形成支援課と連携し、毎年本相談会を開催しています。

体育会学生が抱える就職活動への不安を払拭し、主体的かつ積極的にキャリア形成に取り組めるよう、キャリア形成支援課職員による個別相談形式で、社会状況や就職スケジュール、体育会ならではの強みを生かしたキャリア形成等に関する相談会を、対面で実施しました。

〈優秀学生の表彰〉

オリンピック、アジア大会、ワールドユニバーシティゲームズ等で高位の成績を収めた学生に対しては、川島記念特別功労賞が授与されます。他にも年度ごとの競技成績において優秀な結果を収めた学生、及び団体については、毎年3月に開催される体育会表彰式において年間表彰をしています。右は、体育会表彰式後の授賞者記念写真。



体育会卒業生 主な就職先

農林水産省 関東農政局	住友林業(株)	日本通運(株)	(株)東日本銀行
国家公務員一般職(金融庁)	ミサワホーム(株)	西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)	(株)横浜銀行
刑務官	アサヒビール(株)	東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)	(株)リそな銀行
防衛省自衛隊	日本たばこ産業(株)(JT)	北海道旅客鉄道(株)(JR北海道)	(株)リそなホールディングス
防衛省 陸上自衛隊	クリナップ(株)	(株)山善	多摩信用金庫
川崎市役所	バラマウントベッド(株)	ユニ・チャーム(株)	三井住友海上あいおい生命保険(株)
さいたま市役所	(株)エフピコ	(株)大塚商会	明治安田生命保険相互会社
柏市役所	日本製鉄(株)	東京エレクトロン(株)	(株)上毛新聞社
宇都宮市役所	住友電気工業(株)	三菱電機デジタルイノベーション(株)	静岡新聞社・静岡放送
壬生町役場	アマノ(株)	矢崎総業(株)	(株)帝国データバンク
茨城県教育委員会	NTN(株)	渡辺パイプ(株)	(株)マイナビ
東京消防庁	アイリスオーヤマ(株)	DAIKEN(株)	NTT東日本(株)
美馬西部消防組合	(株)日立製作所	イオンリテール(株)	(株)JTB
警視庁	新電元工業(株)	(株)アダストリア	日本赤十字社
神奈川県警察本部	沖電気工業(株)	(株)ワークマン	宮崎県農業協同組合(JAみやざき)
千葉県警察本部	能美防災(株)	(株)レイズインターナショナル	三菱電機ビルソリューションズ(株)
群馬県警察本部	ホーチキ(株)	(株)ニトリホールディングス	(株)SC鳥取
山口県警察本部	曙ブレーキ工業(株)	(株)ニトリ	(一社)霞ヶ関カンツリー倶楽部
	日野自動車(株)	(株)ヨドバシカメラ	(株)VC長野クリエイトスポーツ
第一建設工業(株)	本田技研工業(株)	(株)アルペン	セコム(株)
ライト工業(株)	UDトラックス(株)	(株)岩手銀行	東京水道(株)
(株)NIPPO	キャノンメディカルシステムズ(株)	(株)群馬銀行	(株)プレステージ・インターナショナル
前田道路(株)	シャチハタ(株)	(株)千葉銀行	(株)鹿児島レブナイズ
(株)クラフティア	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	(株)東邦銀行	
日本コムシス(株)	小田急電鉄(株)	(株)西日本シティ銀行	
(株)日立プラントサービス	鴻池運輸(株)	(株)八十二銀行	

【専修大学体育会ガイド】 2026年4月発行

編集・発行/専修大学体育事務部 制作・印刷/(株)研恒社

問い合わせ先/専修大学体育事務部 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1 TEL.044-911-1273

<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/> 専修大学ホームページ「専大スポーツ」

SENSHU
UNIVERSITY
ASSOCIATION OF
ATHLETICS



S SENSHU UNIVERSITY